

# 「教える」から「学び方を学ぶ」へ

---

ひとりひとりがつくりあう学び ~個別最適化への取組を通して~

## 認め合い 高め合い 未来を拓く

知



深く学び合い  
表現する子

徳



思いやりをもち  
支え合う子

体



心と身体を鍛え  
やりぬく子

育てたい資質能力  
自主性・主体性

# 教科別分析：国語・算数の課題

## 課題：書くこと・語彙

4年生「書くこと」正答率 77  
(全国平均100換算で低い)

- 言葉の特徴や使い方の理解が不十分

## 課題：変化と関係・データ

5年生「変化と関係」正答率 80  
(全国平均100換算で低い)

- 「わからない」ことが算数嫌いの原因に

## 全国学力学習状況調査の詳細分析



# 児童と先生の声



## 児童の実態



【強み】ICT活用能力が高い。優しい心を持っている（いじめはダメ）。



## 先生の願い



「個別最適な学び」を進めたい。



「協働的な学び」を実現したい。



「互いの授業（板書や児童の様子）を見合いたい。」



## まとめ：現状と方向性

ICTという武器はあるが、自律的に学ぶ方法（OS）が不足している。  
先生たちはそのOSをインストールする準備ができている。

## ひとりひとりがつくりあう学び

～個別最適化への取組を通して～

一斉指導



SHIFT

個別最適 + 協働



▶ 達成感を感じ、  
自ら学びを積み上げる授業

✓ 基礎学力を保障し、  
自力で課題解決できる力

# なぜ「個別最適化」なのか

学力の向上にむけて、児童の主体性を向上



「学び方」を知らないだけではないか？



自己調整力の育成



外部専門家の知見

- 6月に難波駿先生（『学び方を学ぶ授業』著者）を招聘
- 理論と実践の両面からアップデート

学校教育目標

認め合い 高め合い 未来を拓く

(知)深く学び合い表現する子 (徳)思いやりを持ち支え合う子 (体)心と体を鍛えやり抜く子

令和7年度の重点目標

楽しい学校 優しい教室 がんばる自分

～笑顔と潤いのある学校づくり～

研修テーマ・副題

ひとりひとりがつくり合う学び  
～個別最適化への取組を通して～

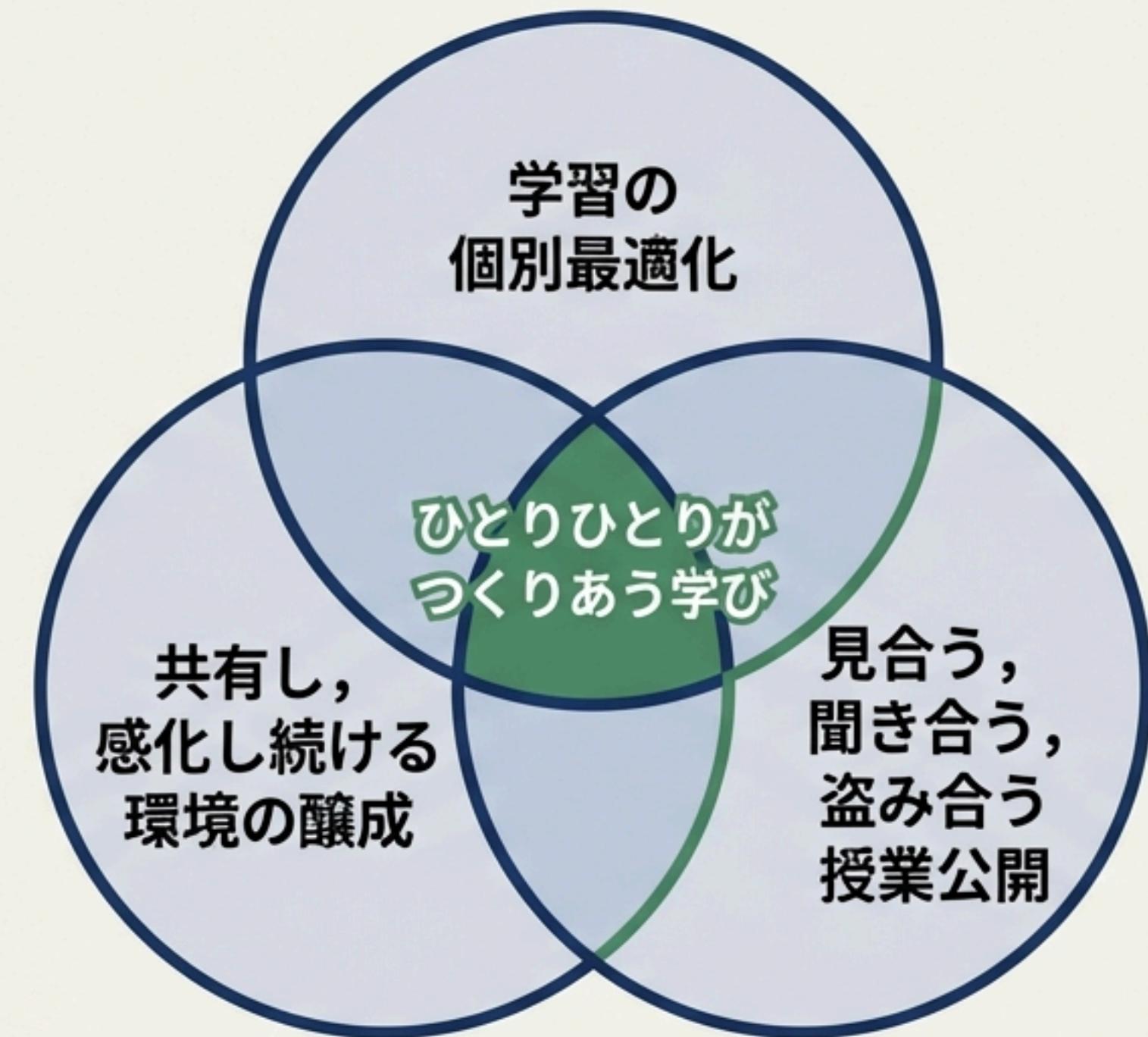
学習の  
個別最適化

共有し、感化  
し続ける環境  
の醸成

見合う、聞き  
合う、盗み合  
う授業公開

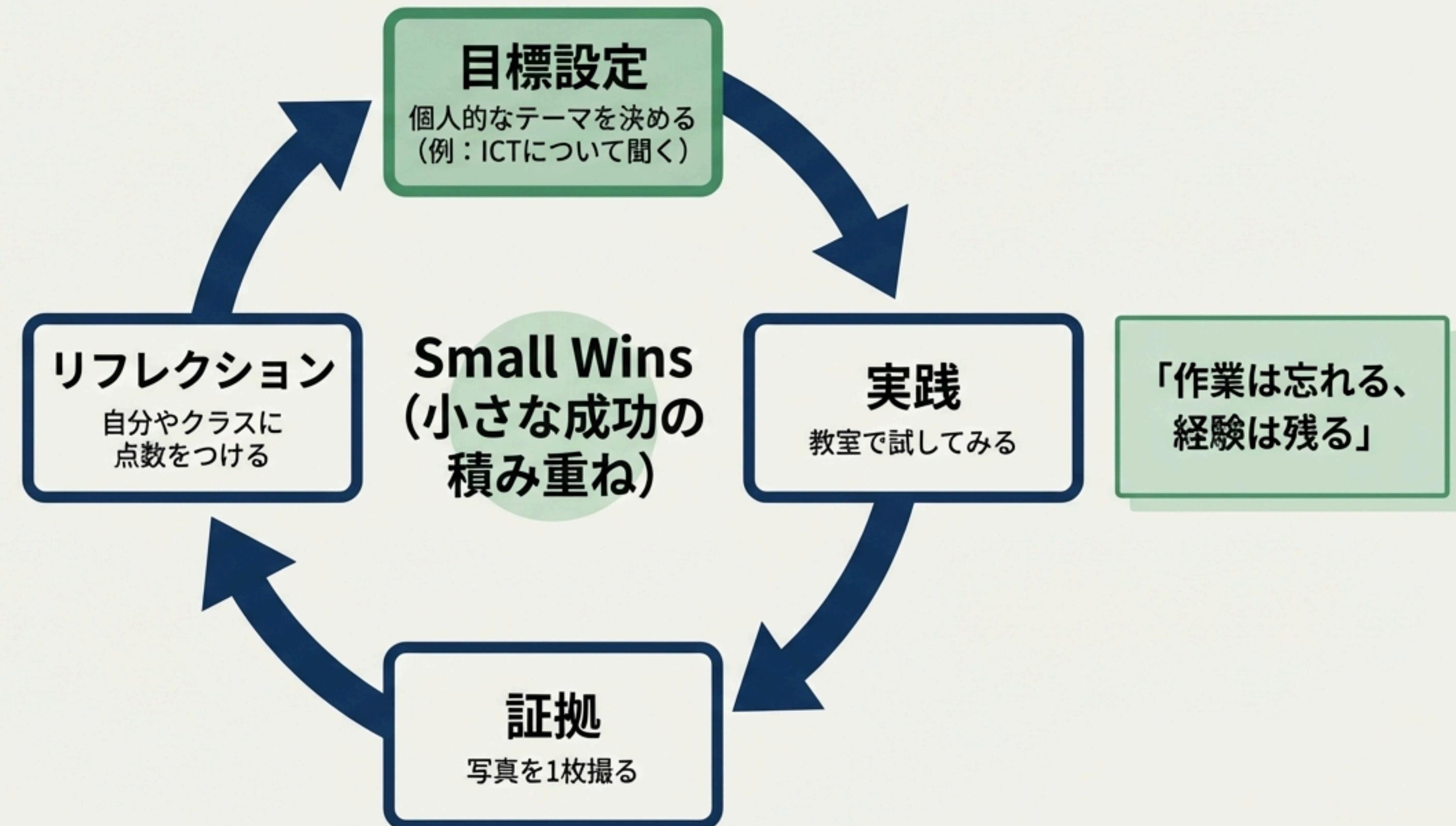
話しやすい、聞きやすい研修の時間  
全員が自分の業務の中で、「ここを今年度は  
成長したい」というところを設定し、  
定期的なペースでアウトプット＆リフレクシ  
ョン、共有ができる場所づくり

# 推進の3つの柱



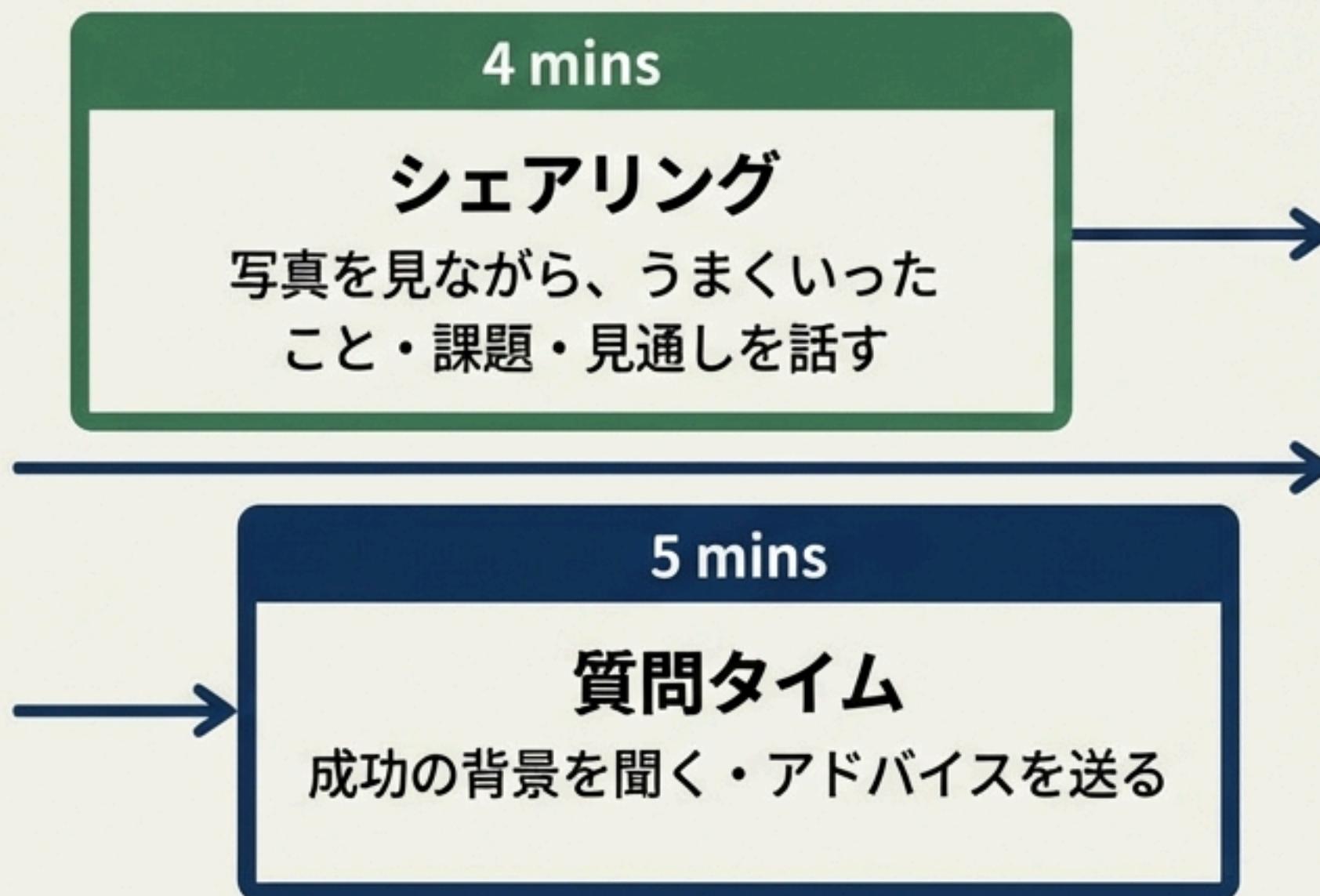
継続的・発展的・個別的

# 目標設定とリフレクションの恒常化



# シェアリングと感化

## Meeting Format



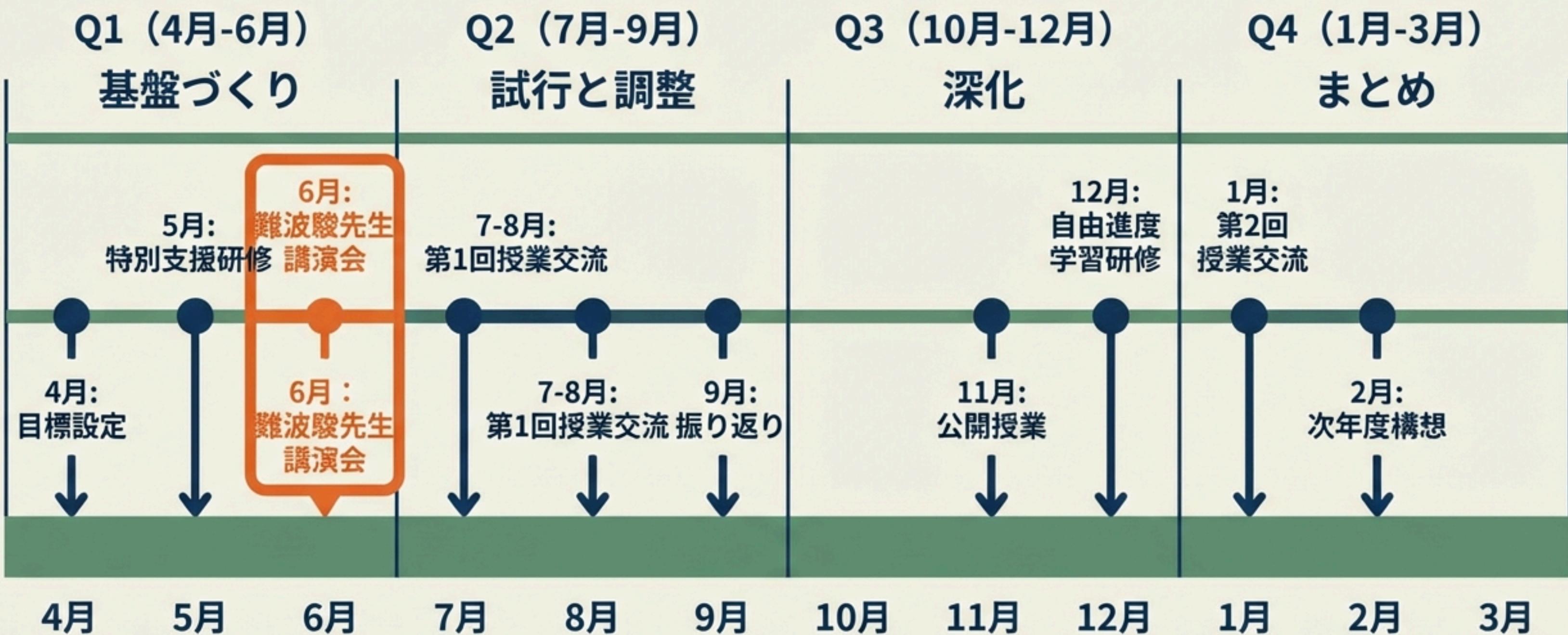
## The Golden Rule



### 心理的安全性

批判ではなく、ヒントを見つける場。  
話しやすい、聞きやすい雰囲気を作る。

# 研修年間計画

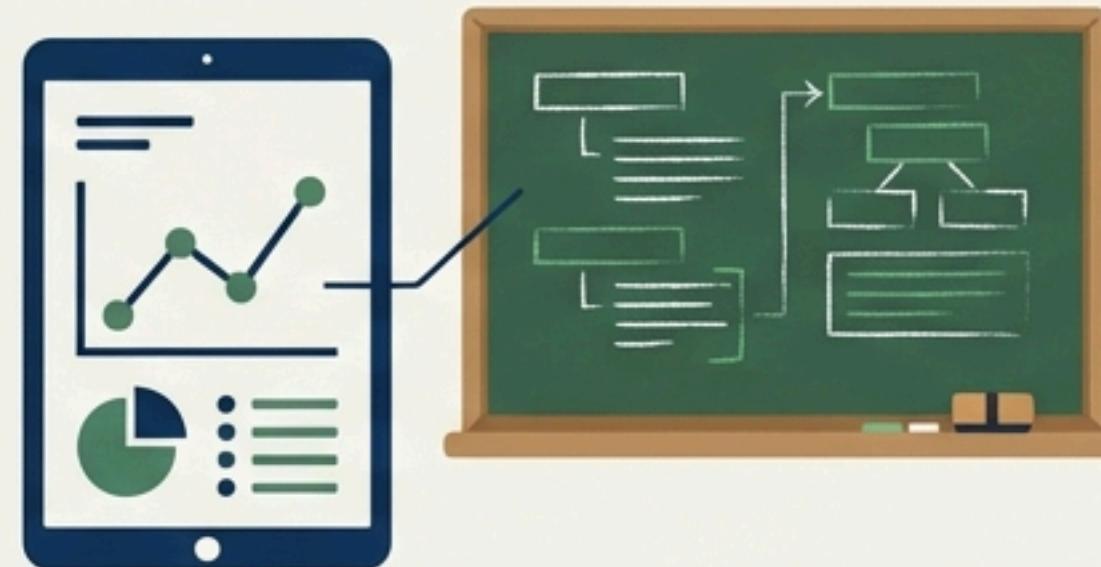


# 強みを生かす：ICT活用とノート指導

## ICTの活用

本校の強みである高いICTスキルを  
「自己調整」の道具として使う。

自由進度学習での  
ペース配分、  
情報の検索。



## 授業観察の視点

授業交流（参観）ではここを見る：



思考が構造化され  
ているか？



協働しているか？  
没頭しているか？

# 最初の一歩



## 今年度の目標設定

- 自信をつけるためのアクションを1つ決める

(例：PC操作を3人に聞く、男女が遊ぶクラスを目指す)

- 2週間後のセルフチェック

自分に何点あげますか？ ( / 100点)

まずは小さな成功  
(Small Wins) から  
始めよう。

# R7年度の重点目標

**楽しい学校 優しい教室 がんばる自分**

**笑顔と潤いのある学校づくり**

**個別最適化された学びを通して、ポテンシャルを確かな成果へ。**